

## 京都市動物園 植栽に関する5箇年計画

## 【大きな方針】

- ・自然環境や文化資産に恵まれた都市型の動物園であることを踏まえ、動物園内の緑環境を始め、周辺環境との調和、共生に配慮しながら植栽管理を計画、実施していく。
- ・花緑を充実させて、日本で一番美しい動物園を目指す。
- ・印象的な緑化空間を作る。
- ・予防保全型の育成管理を行う。

	全体景観づくり	京都の伝統行事や文化ゆかりの植物	宮家ゆかりの小庭	予防保全型の育成管理
個別方針	東山からの連続性を意識し、また南禅寺の屋根瓦など周辺景観を取り入れた植栽管理を行う。	来園者に、植物を通して、京都の文化に親しんでいただける植栽を行う。京都府レッドリストに指定されている希少種なども取り入れ、京都の自然環境保全に取り組む。	来園者に、宮家と本園との御縁や秋篠宮家のお印の植物について周知するとともに、日本庭園に親しみをもってもらえるような庭園空間を維持する。	来園者の安全を最優先とし、枯損木等に適切な対応を行う。また、定期的に点検を行い、弱っている樹木には早期対応を行う。
1年目 (H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●展望デッキからの眺望の維持、向上</li> <li>・東山の稜線を隠さない植栽管理を行う。</li> <li>・南禅寺の屋根瓦が見える植栽管理を行う。</li> <li>・獣舎の屋上付帯施設を目隠しするため樹木を伸長させていく。</li> <li>●実正の松の育成を行う。</li> </ul>	●3月頃キクタニギクの植栽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ナスヒオウギアヤメを育成管理。</li> <li>●小庭の維持管理。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クスノキの樹勢回復</li> <li>・枝の切り戻し、枝葉の更新をはかる。</li> <li>・穴を掘って通気管を設置し、地表及び通気管に養分を供給し、樹勢回復を促す。</li> <li>●シダレヤナギ</li> <li>現行の高さを維持しつつ、切り戻しを行う。</li> <li>●枯損木</li> <li>確認次第、伐根、更新等の処置を行う。</li> </ul>
2年目 (H31,R1)		●植栽した植物の育成管理	●ナスヒオウギアヤメ、ユウナの植栽	
3年目 (R2)			●小庭の維持管理。	
4年目 (R3)	●1年目の計画を継続し、園内の景観を向上させていく。	●植栽した植物の育成管理を継続、京都ゆかりの植物が楽しめる空間として、完成度及び認知度を高めていく。	●ナスヒオウギアヤメ、ユウナの維持管理	●2年目までの作業の効果を確認しつつ、継続して行う。
5年目 (R4)			●小庭の維持管理。	